学校番号	２０５

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校「新地理総合」　（帝国書籍）						
副教材等	新編地理資料（東京法令出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地図に親しみ、地図帳を開く習慣を身につけよう。
・インターネットやテレビなどのメディアを通じて、世界で起こっている事象に目を向けよう。
・文化の違いに対する偏見をなくせるように、様々な宗教や文化を知り、国際平和に何が必要か、調べる・考える。世界で起きている紛争や対立の原因について調べてみよう。
・歴史的を知ることで地理的視野・考察も深まります。民族・宗教・国家の歴史についても、自分で調べることで理解が深まったり、知識も定着します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　地理に関する諸事象について理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
　地理に関わる概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
　地理に関する課題を主体的に追及、解決しようとする態度を身につけるとともに、文化の違いを理解し、国際理解を深めることで偏見や誤った見方をなくし、国際社会について主体的に考えようとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地球的課題への取り組みなどを理解している。 ・地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	・地理に関わる事象の意味や意義，特色等を，気候・文化・人間と自然環境との相互依存関係などに着目して，考察できる。 ・地理的な課題の解決に向けて多面的・多角的に考察したり，構想したりすることができる。 ・考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりすることができる。	・知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向け、粘り強く取り組みを行おうとしている。 ・地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ・発展学習について、積極的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地図と地理情報システム	1．地球上の位置と時差	a：日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に，地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。現代世界のさまざまな地理情報について，地図や地理情報システムなどを用いて，その情報を収集，読み取り，まとめる基本的な技能を身に付けている。 ・緯度・経度の基本的なしくみ，緯度の違いが生活に与える影響について理解している。 b：地図や地理情報システムについて，位置や範囲，縮尺などに着目して，目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察している。 c：時差のしくみ，時差が生活に与える影響について，多面的・多角的に考察し，表現している。	定期考査 授業プリントの点検 問題演習	定期考査 テーマを与え意見を書かせる	課題学習の発表 調べ学習課題(自由提出)
		2．地図の役割と種類	a：球体の地球と平面の地図，さまざまな地図投影法（図法）について理解している。 b：身の回りの主題図やさまざまな一般図の表現方法や用途について理解し、どの表現が適格か、考察できている。 c：地理情報システム（GIS）のしくみやこれを支える技術，GISの活用場面について理解しており，基礎的・基本的な技能を身に付けている。			
	生活文化の多様性	1．世界の地形と人々の生活	a：生活の舞台となる陸地，地形をつくる営力，大地形を構成する変動帯と安定地域について理解している。 ・変動帯のプレート境界と生活への影響，地震・火山・平野・河川と生活への影響について，多面的・多角的に考察し，表現してい	定期考査 授業プリントの点検 問題演習	定期考査 テーマを与え意見を書かせる	課題学習の発表 調べ学習課題(自由提出)

	と国際理解		る。 ｂ：海岸や特殊な地形と生活とのかかわりについて、多面的に理解し、興味を持って考察している。			
2学期		2. 世界の気候と人々の生活	a:気候帯の区分を理解し、それぞれの地域ごとに特色ある生活や文化がはぐくまれてきたことを理解する。 b: 気候が生活に与える影響，気温のしくみと分布の特徴，降水のしくみと分布の特徴について，多面的・多角的に考察できる。 c:気候グラフなどの作成やそこから読み取れる内容を考え、世界のどの地域にその気候帯が分布しているか、資料集やインターネットを利用して調べる			
		3. 世界の言語･宗教と人々の生活	a・ｂ： 言語と民族の関わり，民族と宗教の関係について理解し、農耕民･遊牧民といった基本的な概念や、その現代の暮らしぶりについて考察する。 c: 宗教の食生活への影響，宗教と生活の関わりについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。 (課題学習)宗教について調べてその日々の生活や特徴について、発表する。			個人発表又はグループ発表
		現代世界の国家 日本の位置や領域	a:国家の三要素、国境についての基礎知識。 ｃ：日本の位置と領域、排他的経済水域についての理解を深めるとともに、周辺国との間にある国境紛争について、歴史を踏まえて調べる。			調べ学習課題(自由提出)

3学期	地球的課題と国際協力	地球環境問題	a:世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて理解している。 ｂ：地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題などを基に，その解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みやどのような国際協力が必要か考察する。 ｃ：（課題学習）ＳＤＧｓに対する、身近な取り組み、国際的な取り組みについて調べる。	定期考査 授業プリントの点検 問題演習	定期考査 テーマを与え意見を書かせる	個人発表又はグループ発表
	持続可能な地域づくりと私たち	自然環境と防災	a:世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に，地域の自然環境の特色と災害への備えや対応との関わり，自然災害の規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 ・さまざまな自然災害に対応したハザードマップや各種の地理情報について，情報を収集し読み取り，まとめる技能を身に付ける。 ｂ:地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察している。 ｃ：自然環境と防災について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。			調べ学習課題（自由提出）

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度